

Madon > ニュース > リリース > デリア・フィッシャーとヒカルド・バセラルがブラジル音楽界の至宝、ジルベルト・ジルのカバーアルバム『Andar com Gil(アンダール・コン・ジル)』をリリース

ニュース エンタメ ウーマン 映画 ネタコラム 地域 リリース 記事提供元

デリア・フィッシャーとヒカルド・バセラルがブラジル音楽界の至宝、ジルベルト・ジルのカバーアルバム『Andar com Gil(アンダール・コン・ジル)』をリリース

2023年02月21日09時15分 / 提供: PR TIMES

PR TIMES



ジルベルト・ジル本人も特別参加！

このアルバムは、ジルベルト・ジルの作品のなかから精神・心について物語る楽曲を選んでカバーしたもので、ピアノと、デリアとヒカルドのヴォーカルに焦点を当てたアコースティック作品です。

【画像】
<https://prtimes.jp/r/116890/1/resize/d116890-1-b8454e0edf9aa225016f-0.jpg>

『Andar com Gil(アンダール・コン・ジル)』は、ブラジルの歌手、デリア・フィッシャーとヒカルド・バセラルが、ブラジル音楽界の至宝、ジルベルト・ジルの曲をカバーしたトリビュートアルバムです。本作品は、Jasmin Musicレーベルより、1月27日から各ストリーミングプラットフォームで配信されます。(※“Andar com Gil”(アンダール・コン・ジル)は、“ジルと共に歩む”の意。)

アルバム試聴リンクはこちら:https://ffm.to/jasmin_andarcomgil

このアルバムは、ジルベルト・ジルの作品のなかから精神・心について物語る楽曲を選んでカバーしたもので、ピアノと、デリアとヒカルドのヴォーカルに焦点を当てたアコースティック作品です。そして、「Prece(ム プレシ)」という曲のレコーディングには、ブラジルが誇る伝説的なミュージシャン／作曲家であるジルベルト・ジル本人(80歳)がヴォーカルで特別参加しています。配信開始日の1月27日には、ジルベルト・ジルが参加したレコーディングの舞台裏を記録したビデオクリップがYouTubeで公開される予定です。(※“Prece”(ム プレシ)は、“祈り”の意。)

YouTubeリンク:<https://youtu.be/GeQ006q2cSA>

デリア・フィッシャーとヒカルド・バセラルは、これまでもコラボレーションを行ってきましたが、今回は構想から録音まで完全に2人でアルバムを作り上げることにしました。「2人のプロジェクトの開始にあたり、時間をかけてどうするか考えました。カバーアルバムを作ろうという案が持ち上がり、2人が最初に思い浮かべたのがジルベルト・ジルでした。彼の繊細で詩的な面にスポットライトを当て、精神性の高い楽曲を選んだことに満足しています。ピアノ、キーボード、エキゾチックな打楽器、すべてをミニマルに演奏した、精緻な仕上がりのレコードになりました」とバセラルは語ります。

「このアルバムは、スタジオでの濃密なセッションによって生まれたものです。「A Paz」、「Oriente」、「Aqui e agora」などの楽曲では、ヴォーカルとピアノを同時にライブ録音することで、楽曲の持つエモーションや親密な雰囲気表現しました。楽曲「Palco」のアレンジもごく自然に生まれました」とデリア・フィッシャーは言います。「精神・心という切り口も、そしてヒカルドと私の両方が演奏するピアノをどう扱うかについても、私たち2人で決めたことです。ジルベルト・ジルは傑出したギタリストなので、私たちはピアノをベースにした新たなアレンジを創り出したかったのです。ジルベルト・ジルこそ、このアルバム全体をつなぐ軸です。楽器のマルチ演奏家であるヒカルドは、そこにさまざまな打楽器、キーボード、弦楽器の音も加えました」(デリア・フィッシャー)。

収録曲には、デリアとヒカルドに、ジルベルト・ジルがヴォーカルで加わり、ジャキス・モレレンバウムがチェロで参加した「Prece」のほか、「A Paz」、インド音楽特有の楽器を使用した「Oriente」、「Se eu quiser falar com Deus」、「Andar com fé」、「Cada tempo em seu lugar」、「São João Xangô Menino」や「Aqui e agora」といった古典的名曲が含まれています。

「ジルベルト・ジルとは、豊かな音楽の才能、詩の才能、精神性を複雑に併せ持つ存在なのです。彼とのレコーディングはとても感動的で、私たち3人は共に内省的なムードに包まれました。ジルも感動しているように感じました」とバセラルは振り返ります。2022年(80歳の誕生日を迎えたジルベルト・ジル(バイアーナ州出身)は、本作のタイトルも非常に気に入っているといいます。デリアは「彼はこのアルバムの選曲、つまり精神性・心についてのストーリーを愛してくれました」と語ります。

ジルベルト・ジルは、ブラジルのみならず世界で認められた音楽家で、グラミー賞、ラテン・グラミー賞を受賞しています。2021年にはブラジル文学アカデミーの名誉ある永久会員に選ばれました。彼の最初の詩は17歳の時に書かれています。

プロフィール

■ ヒカルド・バセラル (Ricardo Bacelar)

ブラジルのセララ州出身のピアニスト、作曲家、プロデューサー。商業的な成功を収めたリオ発の音楽グループ“ハノイ・ハノイ”のメンバーとして長年活躍した。ソロとしてアルバムをリリースしており、Belchior、Erasmus Carlos、Luiz Melodia、Adriana Calcanhoto、Ednardo、Lulu Santos、AmelinhaなどのM 大物ミュージシャンたちとレコーディングを行っている。バセラルは、米国のジャズ専門ラジオ局において最も多く曲が放送されたミュージシャンとなった。また欧州や日本へのコンサートツアーもやっている。2022年に「Congênito」リリースしています。2021年にはギタリストCairã Cavalcanteと「Paracosmo」リリースしました。

■ デリア・フィッシャー (Delia Fischer)

ブラジルのリオデジャネイロ州出身。ピアニスト、作曲家として活動しています。2011年にEgberto Gismontのアルバム(Saudações Egberto)をリリースしています。

『Andar com Gil(アンダール・コン・ジル)』収録曲

■制作・編曲:デリア・フィッシャー／ヒカルド・バセラル

■録音:Dolby Atmos／スタジオ:Jasmin Studio(セララ州フォルタレーザ市)

■作詞・作曲:「A Paz」(ジルベルト・ジルが作詞、ジョアン・ドナートが作曲)を除き、全曲ジルベルト・ジルが作詞・作曲

1. Oriente (Gilberto Gil)

(=オリエント)

・デリア・フィッシャー:ピアノ、ヴォーカル

・ヒカルド・バセラル:ヴォーカル、シタール、サロード、サラング、ハルモニウム、ショカーリャ、ダラブッカ、ラトル、フルート類、モリンガ

2. Se eu quiser falar com Deus (Gilberto Gil)

(=もし、僕が神様と話したいなら)

・デリア・フィッシャー:ピアノ、キーボード、ヴォーカル

・ヒカルド・バセラル: Hammondオルガン

3. Andar com fé (Gilberto Gil)

(=信じて歩む)

・デリア・フィッシャー:ヴォーカル、ハンドクラブ、コーラス

・ヒカルド・バセラル:ピアノ、ヴォーカル、ハンドクラブ、コーラス

・マヌエラとサラ:ハンドクラブ、コーラス

4. Cada tempo em seu lugar (Gilberto Gil)

(=その時々その場所で)

・デリア・フィッシャー:ピアノ

・ヒカルド・バセラル:ヴォーカル、キーボード

5. São João Xangô Menino (Gilberto Gil/Caetano Veloso)

(=サン・ジョアン・ジャンゴ少年)

・デリア・フィッシャー:ヴォーカル

・ヒカルド・バセラル:ピアノ、ヴォーカル、ザブンバ、コンガ、ショカーリャ、ダルシマー

6. Prece (Gilberto Gil)

(=祈り)

※特別参加:ジルベルト・ジル(ヴォーカル)／ジャキス・モレレンバウム(チェロ)

・ジルベルト・ジル:ヴォーカル

・ジャキス・モレレンバウム:チェロ

・デリア・フィッシャー:ピアノ、ヴォーカル

・ヒカルド・バセラル:ヴォーカル

7. Palco (Gilberto Gil)

(=ステージ)

・デリア・フィッシャー:ピアノ、ヴォーカル

・ヒカルド・バセラル:ヴォーカル、パーカッション、ベース、ドラムス

8. Aqui e agora (Gilberto Gil)

(=今ここで)

・デリア・フィッシャー:ピアノ、ヴォーカル

・ヒカルド・バセラル:ヴォーカル

9. A Paz (João Donato e Gilberto Gil)

(=ム 平和)

・デリア・フィッシャー:ピアノ、ピアノ/弦のピチカート、ヴォーカル

・ヒカルド・バセラル:ピアノ/弦のピチカート、ヴォーカル

企業プレスリリース詳細へ

PR TIMESトップへ

【続きを読む】

関連してるっ(しい)地図



あなたにおすすめの記事

